

「つないでいることがかなむ」

横浜市立高田小学校 六年 飯田光希

「おはよりやあこます。」

私は毎朝、たくさんの「おはよりやあこます。」を言います。家族、友達、近所の方、登校班の係のお母さん、やし、校門の前には学援隊の方々。みんなの「おはよりやあこます。」に背中をおしてもうひとつ、毎日、うれしい気持ちで登校します。私の町には、子ども一〇番の札がある家がたくさんあり、「いつも私達を見守ってくれています。そして、私の家の犬もワンワンペトロールの田印をつけ、毎日散歩をします。夏休みには、初めておまわりさんと話をしました。おまわりさんは、一軒一軒の家をまわって、家庭の状況を確認していました。私は、この時、安心して暮らせる町に住んでいるのだなと実感しました。そして、地域の人々は支えられて生きているということも知りました。

しかし一方で、ニュースを見ると、毎日のように殺人などの犯罪が大きくなりあげられています。調べてみると、日本では平均すると、一日五千五百回ほど犯罪がお

に思ひ出いで、犯罪や非行を少しでも防ぐことができるのではないかと考えました。

次に、家族のつながりです。私は、悪いとわかつていてどうして非行や犯罪をするのかなど不思議でした。その人が、非行や犯罪をしてしまうのは、やつた理由が必ずあると思います。もしかしたら、自分の存在に気づいてほしかったというのも理由かもしれません。それは、家族から愛情をそそがれることができたり、周りの人間に認められる」ともなく、自分に自信を失ってしまったことが原因だと思います。「心の拠り所」それを失つてしまつたから、良い判断ができなくなってしまったのではないかでしょか。それに自分のことを認めてくれる人がいれば、自分に自信をもつて、「良じ」とをしよう。優しくなるやう」と思えます。優しさや明るさは伝染します。周りの人々も優しく、明るくなります。だから、私は家族という拠り所がない人も友達や先生、スクールカウンセラーの先生など、寄りそえる人や場所がある社会になつたらしいと思します。

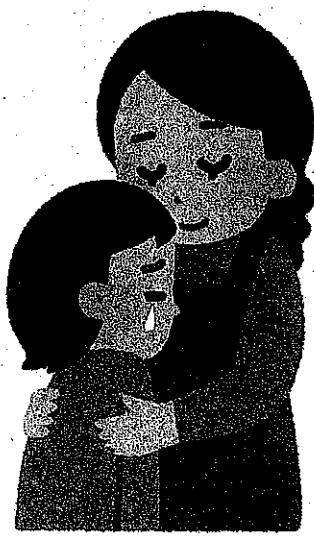
そして、地域のつながりです。小学生のころは、あまり犯罪はおこりません。これは地域の人々に見守られながら登校したり、周りの人々に支えられて生きているからです。しかし、大きくなると自立して、自分で生きていくような気になるのかもしません。だから見守られ

まごうるそうです。「それを計算してみると、十五秒に一回のペースで犯罪がおきていることになります。これを知り、私はとてもおどろきました。日本は、もう少し安全な国だと思っていたからです。そして、その中でも一番多い犯罪は窃盗です。自転車を盗んだり、万引きが多いそうです。私は、この事実を知り、どうして人の物を盗むのだろうと疑問に思いました。そして、この犯罪を一件でもなくすためにはどうしたらよいのかと考えました。

まず、小学校の道徳の授業の大切さを思ひ出しました。私が印象に残っている話は、自分勝手にルールを破つて狩りをする王様の話です。王様は自分の行動に助言する人の優しさを無にして、最後は町の人達によつてとうやにいれられてしまします。この授業をとおして、自分がだけの幸せを考えるのではなく、周りの人々のことを考えて行動することの大切さを学びました。小学生の時に、道徳の授業をしつかり学んでいれば、大人になつたとき

でいるときよりも、犯罪をおかす人の数が多くなるのかなと考えます。

私は、一人では生きていけません。人は必ず親がいて生まれてきます。この世界に生まれてくる一人一人の赤ちゃんが、周りから愛されて育つことができれば、明るい社会になるでしょう。そして、小学校の大切な時に社会のルールをしつかり学んで、心が豊かに成長することが大事です。今、私でできることは、支えてくれる人々に感謝し、将来社会に「つなげんできる人になる」とことです。



「つないでいじつ書かなる心」

横浜市立高畠小学校

六年

鶴 田 光 希

「おはより」やこます。」

私は毎朝、たくさんの「おはより」やこます。」を言います。家族、友達、近所の方、登校班の係のお母さん、そして、校門の前には学援隊の方々。みんなの「おはより」やこます。」に背中をおしてもうつて、毎日、うれしい気持ちで登校します。私の町には、子ども一〇番の札がある家がたくさんあり、いつも私達を見守ってくれています。そして、私の家の犬もワンワンパン自然而の印をつけて、毎日散歩をします。夏休みには、初めておまわりさんと話をしました。おまわりさんは、一軒一軒の家をまわって、家庭の状況を確認していました。私は、この時、安心して暮らせる町に住んでいるのだなと実感しました。そして、地域の人々は支えられて生きているということも知りました。

しかし一方で、ニュースを見ると、毎日のように殺人などの犯罪が大きくとりあげられています。調べてみると、日本では平均すると、一日五千五百回ほど犯罪がお

に思い出したり、犯罪や非行を少しでも防ぐことができるのではないかと考えました。

次に、家族のつながりです。私は、悪いとわかつていてどうして非行や犯罪をするのかなど不思議でした。その人が、非行や犯罪をしてしまうのは、やつた理由が必ずあると思います。もしかしたら、自分の存在に気づいてほしかったというのも理由かもしれません。それは、家族から愛情をそそがれることがなかつたり、周りの人間に認められる」ともなく、自分に自信を失つてしまつたことが原因だと思います。「心の拠り所」それを失つてしまつたから、良い判断ができなくなつてしまつたのではないかでしょうか。それに自分のことを認めてくれる人がいれば、自分に自信をもつて、「良じ」とをしよう。優しくなるわ」と思えます。優しさや明るさは伝染します。周りの人々も優しく、明るくなります。だから、私は家族という拠り所がない人も友達や先生、スクールカウンセラーの先生など、寄りそえる人や場所がある社会になつたらいいと思います。

そして、地域のつながりです。小学生のころは、あまり犯罪はおりません。これは地域の人に見守られながら登校したり、周りの人に支えられて生きているからです。しかし、大きくなると自立して、自分で生きていくような気になるかもしません。だから見守られ

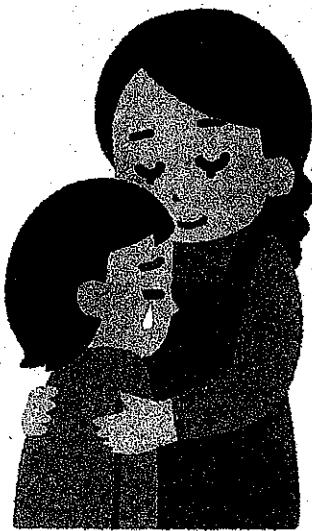
までいるそうです。「それを計算してみると、十五秒に一回のペースで犯罪がおきていることになります。これを

知り、私はとてもおどろきました。日本は、もう少し安全な国だと思っていたからです。そして、その中でも一番多い犯罪は窃盗です。自転車を盗んだり、万引きが多いそうです。私は、この事実を知り、どうして人の物を盗むのだろうと疑問に思いました。そして、この犯罪を一件でもなくするためにはどうしたらよいのかと考えました。

まず、小学校の道徳の授業の大切さを思い出しました。私が印象に残っている話は、自分勝手にルールを破つて狩りをする王様の話です。王様は自分の行動に助言する人の優しさを無にして、最後は町の人達によつてやられられてしまっています。この授業をとおして、自分が幸運を覚えるのではなく、周りの人のことを考えて行動する」との大切さを学びました。小学生の時に、道徳の授業をしっかりと学んでいれば、大人になつたとき

ているときよりも、犯罪をおかす人の数が多くなるのかなと考えます。

私は、一人では生きていけません。人は必ず親がいて生まれてきます。この世界に生まれてくる一人一人の赤ちゃんが、周囲から愛されて育つことができれば、明るい社会になるでしょう。そして、小学校の大切な時に社会のルールをしつかり学んで、心が豊かに成長する事が大事です。今、私ができる事とは、支えてくれる人々に感謝し、将来社会につけんできる人になることです。



「つないでいる」事がかなむ

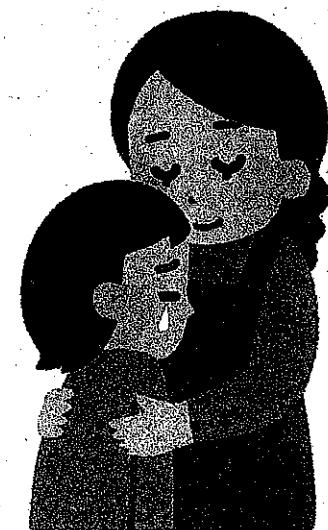
横浜市立高田小学校 六年 會田光希

「おはより」やこます。」

私は毎朝、たくさんの「おはより」やこます。」を言います。家族、友達、近所の方、登校班の係のお母さん、やして、校門の前には学援隊の方々。みんなの「おはより」やこます。」に背中をおしてもう一つ、毎日、うれしい気持ちで登校します。私の町には、子ども一、一〇番の札がある家がたくさんあり、「いつも私達を見守ってくれています。そして、私の家の犬もワンワンペトロールの田印をつけ、毎日散歩をします。夏休みには、初めておまわりさんと話をしました。おまわりさんは、一軒一軒の家をまわって、家庭の状況を確認していました。私は、この時、安心して暮らせる町に住んでいるのだなと実感しました。そして、地域の人々に支えられて生きているということも知りました。

しかし一方で、ニュースを見ると、毎日のように殺人などの犯罪が大きくとりあげられています。調べてみると、日本では平均すると、一日五千五百回ほど犯罪がおに思ひ出します。犯罪や非行を少しでも防ぐことができるのではないかと考えました。

次に、家族のつながりです。私は、悪いとわかつていてどうして非行や犯罪をするのかなど不思議でした。その人が、非行や犯罪をしてしまうのは、やつた理由が必ずあると思います。もしかしたら、自分の存在に気づいてほしかったというのも理由かもしれません。それは、家族から愛情をそそがれることがなかつたり、周りの人間に認められる」ともなく、自分に自信を失つてしまつたことが原因だと思います。「心の拠り所」それを失つてしまつたから、良い判断ができなくなつてしまつたのではないかでしょうか。それに自分のことを認めてくれる人がいれば、自分に自信をもつて、「良い」とをしよう。優しくなるう。」と思えます。優しさや明るさは伝染します。周りの人々も優しく、明るくなります。だから、私は家族という拠り所がない人も友達や先生、スクールカウンセラーの先生など、寄りそえる人や場所がある社会になつたらいいと思します。



あてゝいるそうです。「これを計算してみると、十五秒に一回のペースで犯罪がおきてくることになります。これを知り、私はとてもおどろきました。日本は、もう少し安全な国だと思っていたからです。そして、その中でも一番多い犯罪は窃盗です。自転車を盗んだり、万引きが多いそうです。私は、この事実を知り、どうして人の物を盗むのだろうと疑問に思いました。そして、この犯罪を一件でもなくすためにはどうしたらよいのかと考えました。

まず、小学校の道徳の授業の大切さを思ひ出しました。私が印象に残つている話は、自分勝手にルールを破つて狩りをする王様の話です。王様は自分の行動に助言する人の優しさを無だにして、最後は町の人達によつてやられられてしまつます。この授業をとおして、自分が幸運を考えるのではなく、周りの人のことを考えて行動することの大切さを学びました。小学生の時に、道徳の授業をしつかり学んでいれば、大人になつたとき

ているときよりも、犯罪をおかす人の数が多くなるのかなと考えます。

私は、一人では生きていけません。人は必ず親がいて生まれてきます。この世界に生まれてくる一人一人の赤ちゃんが、周りから愛されて育つことができれば、明るい社会になるでしょう。そして、小学校の大切な時に社会のルールをしつかり学んで、心が豊かに成長することが大事です。今、私ができるいとは、支えてくれる人々に感謝し、将来社会に「つけることができる人になる」とことです。